

- 東海再処理施設から発生した低放射性の液体廃棄物は、低放射性廃棄物処理技術開発施設(LWTF)にてセメント固化体として廃棄体化し、埋設処分する計画です。埋設処分後の化学物質による環境汚染に配慮した対応として、LWTFでは低放射性の液体廃棄物に含まれる硝酸根を窒素に還元して分解する設備(硝酸根分解設備)を導入する予定としております。
- 硝酸根分解設備については、実設備1/1スケールの試験(実証プラント規模試験)を実施し、実設備においても期待する性能が得られることの確認及びより確実な安定・安全運転に向け充足すべきデータの取得を行う計画です。試験装置の製作/設置が令和7年3月までに完了したことから、実証プラント規模試験を令和7年3月28日から令和8年3月末の予定で実施いたします。



硝酸根分解設備の実証プラント規模試験装置

実証プラント規模試験にて 取得するデータ

○ スケールアップの影響

① 攪拌性能

② 分解槽温度の保持性能

○ 運転条件変動による影響

① 廃液温度

② 廃液濃度

○ 安定運転・安全対策

① 硝酸根の分解処理性能

② 処理済廃液移送設備

・ 廃触媒回収性能

③ 温度上昇率

など